

平成18年度秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成18年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成19年7月12日(木)に滝川ホテル三浦華園において開催された。

この検討会には、試験場関係者36名、委託関係者23名ほか、計74名の参集を得て、除草剤17薬剤(153点)、生

育調節剤8薬剤(31点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成18年度 秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. AK-01液 グリホサートイソPロピルアミン 塩 41% [TAC普及会]	タマシ	適用性 継続	植調研究所 和歌山農試 島根農試 南九州大学 佐賀白石 (5)	[一年生雑草] ・耕起前または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・250mL<25, 50> 500mL<25> ・展着剤不要 対) 三共の草枯らし 250mL<50>	実 ・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・耕起または定植7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 250~500mL<25~50L>/10a (専用ノズルを使用する) 継) 定植前処理での薬害の発生について
	タマシ	薬害 新規	植調青森 和歌山農試 (2)	[薬害試験] ・定植直前 ・全面茎葉処理 ・500, 1000mL<25> ・展着剤不要		
2. AKD-71637プロアール 既知化合物 40% [アグロカネショウ]	野菜一 般	作用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] ・播種後、定植前あるいは定植後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・50, 100, 200mL<100> ・対) トレファナサイド乳 200mL<100>	一	
3. AKD-7164水和 シアンゲン 50% [アグロカネショウ]	ネギ	作用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草(ツクサを除く)] ・定植直後 雑草発生前 ・全面土壌処理 75, 150, 300g<100> ・活着後 雑草発生前~始期 ・全面土壌処理 75, 150, 300g<100> ・生育期 土寄せ雑草発生前 ・全面土壌処理 75, 150, 300g<100>	継	継) 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AKD-7164水和	ネギ	適用性 新規	植調研究所<収量> (1)	[一年生雑草(ツクサを除く)] ・ 定植後 雑草発生前～始期 ・ 全面土壌処理 ・ 75, 100, 150g<100>		
4. ANK-553 (改) 乳 ペンディメタリン 30% [BASFファロ]	ラッキョウ	適用性 新規	植調研究所 (1)	[一年生雑草(イネ科, ツクサを除く)] ・ 植付後～萌芽前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 300mL<70, 150> ・ 500mL<70>	継	継) 効果、薬害の確認
5. BCH-0507ロアフル エトフメート 50% [ハ イエル クロップ サイエ ン]	タマネギ	適用性 継続	植調研究所 兵庫淡路 佐賀白石 (3)	[一年生雑草] ・ 定植後 雑草発生始期 ・ 全面茎葉処理 ・ 75, 100, 150mL<80> 参) ペンディメタリン乳 300mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
6. NC-3607ロアフル キザ ロネップ エチル 7% [日産化学工業]	タマネギ	適用性 新規	植調研究所 香川農試 佐賀白石 鹿児島大隅 (4)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)] ・ タマネギ 生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3～5葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 200, 300mL<100> ・ 展着剤不要 比) ナブ乳	継	継) 効果、薬害の確認
	タマネギ	適用性 新規	植調研究所 香川農試 佐賀白石 鹿児島大隅 (4)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)] ・ タマネギ 生育期 雑草生育期 (イネ科雑草6～8葉期) ・ 全面茎葉処理 ・ 200, 300mL<100> ・ 展着剤不要		
7. NC-622液 グリネサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	タマネギ	適用性 継続	植調研究所 兵庫淡路 和歌山農試 香川農試 佐賀白石 (5)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生 育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 200mL<25, 50, 100> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 250mL<25>	実・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植5日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 200～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用) 継) 定植前処理での薬害の発生について
	タマネギ	薬害 新規	兵庫淡路 和歌山農試 (2)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
NC-622液 [委託者]	タマネギ	適用性 継続	植調研究所 香川農試 佐賀白石 長崎総農試 (4)	[一年生雑草] ・タマネギ生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・200mL<25, 50, 100> 500mL<25> ・展着剤不要 対) ラウンドアップ 250mL<25>	実	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 注) 雑草の草丈30cm以下で散布する 作物に飛散しないように散布する
8. NH-0077ロアフル ピラフルフェニル 0.16%, グリホサートイソプロピルアミン 塩 30% [日本農薬]	タマネギ	適用性 新規	植調研究所 和歌山農試 佐賀白石 鹿児島大隅 (4)	[一年生雑草] ・耕起前または定植前 雑草生 育期 (草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・400, 500, 600mL<100> ・展着剤不要 対) 三共の草枯らし 500mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	タマネギ	薬害 新規	植調青森 和歌山農試 (2)	[薬害試験] ・定植直前 ・全面茎葉処理 ・600, 1200mL<100> ・展着剤不要		
9. SYJ-100乳 プロスルカルブ 78.4% [シンジェンタ ジャパン]	タマネギ	適用性 継続	植調青森<春処理> 植調研究所 和歌山暖地園 佐賀白石 (4)	[一年生雑草] ・春期 雑草発生前~始期 (定植後土壌処理剤との体系処 理) ・全面土壌処理 ・400, 500mL<100> ・展着剤不要 対) ゴーゴーサン乳剤 春期全面土壌処理 (雑草発生前~ 始期) 300mL<100>	実	実) [秋冬作露地; 一年生雑草] ・定植後 雑草発生前 全面土壌処理 400~500mL<100L>/10a 生育期 春期雑草発生前~ 始 期 全面土壌処理 400~500mL<100L>/10a 注) 定植後土壌処理剤との体系 で使用する
10. SYJ-171液 バコート 12.4% [シンジェンタ ジャパン]	キャベツ	適用性 継続	植調研究所 京都丹後 長崎総農試 (3)	[一年生雑草] ・耕起前または定植前 雑草生 育期 (草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・500mL<100, 150> 1000mL<100> ・展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	キャベツ	薬害 継続 (薬害 試験と しては 新規)	植調研究所 福岡農総試 (2)	[薬害試験] ・定植直前 ・全面茎葉処理 ・1000, 2000mL<100> ・展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
SYJ-171液	キャベツ	適用性 継続	植調研究所 京都丹後 福岡農総試 長崎総農試 (4)	[一年生雑草] ・ キャベツ生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	実	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 500~1000mL<100~150L>/10a 注) 雑草の草丈30cm以下で散布する 作物に飛散ないように散布する
		適用性 新規	植調研究所 徳島農技 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ブロッコリー	薬害 新規	植調研究所 徳島農技 (2)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 展着剤不要		
		適用性 継続	植調研究所 千葉大環境健康ファ- ル 徳島農技 (3)	[一年生雑草] ・ ブロッコリー生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ハクサイ	適用性 継続	植調研究所 鹿児島大隅 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
		薬害 継続	植調研究所 和歌山農試 (2)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
SYJ-171液	ハサヤ	適用性 継続	植調研究所 千葉大環境健康ファ- ル [*] 鹿兒島大隅 (3)	[一年生雑草] ・ ハサヤ生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックスL 600mL<100>	実	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 500~1000mL<100~150L>/10a 注) 雑草の草丈30cm以下で散布す る 作物に飛散しないように散布す る
	レス	適用性 新規	植調研究所 佐賀白石 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生 育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	レス	薬害 新規	植調研究所 佐賀白石 (2)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 展着剤不要		
	レス	適用性 継続	植調研究所 千葉大環境健康ファ- ル [*] 南九州大学 佐賀白石 (4)	[一年生雑草] ・ レス生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックスL 600mL<100>	実	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 500~1000mL<100~150L>/10a 注) 雑草の草丈30cm以下で散布す る 作物に飛散しないように散布す る
	ホレソリ	適用性 新規	植調研究所 広島農技 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起前または播種前 雑草生 育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ホレソリ	薬害 新規	植調研究所 広島農技 (2)	[薬害試験] ・ 播種直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 展着剤不要		

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
SYJ-17I液	ホレンソウ	適用性 継続	植調研究所 南九州大学 福岡農総試 (3)	[一年生雑草] ・ ホレンソウ生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	実	実) [秋冬作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 500~1000mL<100~150L>/10a 注) 雑草の草丈30cm以下で散布する 作物に飛散ないように散布する
	ネギ	適用性 新規	植調研究所<収量> 鹿児島大隅 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ネギ	薬害 新規	植調研究所<収量> (1)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 展着剤不要		
	ネギ	適用性 新規	植調研究所<収量> 福岡農総試 (2)	[一年生雑草] ・ ネギ生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ダイコン	適用性 新規	植調研究所 三重科学技術セ (2)	[一年生雑草] ・ 耕起前または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
	ダイコン	薬害 新規	植調研究所 三重科学技術セ (2)	[薬害試験] ・ 播種直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 1000, 2000mL<100> ・ 展着剤不要		
	ダイコン	適用性 新規	植調研究所 三重科学技術セ (2)	[一年生雑草] ・ ダイコン生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
SYJ-171液	サヤエンドウ	適用性 新規	植調研究所 植調三重 (2)	[一年生雑草] ・ サヤエンドウ生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 500mL<100, 150> 1000mL<100> ・ 展着剤不要 対) プリグ ロックスL 600mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
11. ZK-122液 グリホサートカリウム塩 43% [シンジェンタ ジャパン]	ネギ	適用性 新規	植調研究所<収量> 奈良農総試 鹿児島大隅 (3)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250mL<25, 50> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンド アップ ハイロード 250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
	ネギ	薬害 新規	植調研究所<収量> (1)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要		
	ネギ	適用性 新規	植調研究所<収量> 福岡農総試 (2)	[一年生雑草] ・ ネギ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 250mL<25, 50> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンド アップ ハイロード 250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
	レタス	適用性 新規	植調研究所 佐賀白石 長崎総農試 (3)	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250mL<25, 50> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンド アップ ハイロード 250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認
	レタス	薬害 新規	植調研究所 長崎総農試 (2)	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要		
	ホレレンカ	適用性 新規	植調研究所 奈良農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 耕起前または播種前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250mL<25, 50> 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンド アップ ハイロード 250mL<50>	継	継) 効果、薬害の確認

A. 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ZK-122液 [委託者]	おひつり	薬害 新規	植調研究所 奈良農総試 (2)	[薬害試験] ・ 播種直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要		
12. リニロン水和 リニロン 50% [デューボン]	ニンニク	適用性 新規	青森農総試<収量> 青森畑園試<収量> (2)	[一年生雑草] ・ 植付前7日前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 100, 150g<100> 対) ゴーゴーサン乳	継	継) 効果、薬害の確認

B. 平成18年度春夏作分 野菜関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量 L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. ANK-553細粒 ベンチメタリン 2% [BASFアグロ]	レタス	適用性 継続 (H18春 夏作)	愛知農総試 兵庫淡路 福岡豊前	[一年生雑草 (苺科、ワケサを除く)] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 4, 5, 6kg 対) ゴーゴーサン乳 300mL<100>	実・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草 (苺科、ワ ケサを除く)] ・ 定植前 雑草発生前 全面土壌処理 4~6kg/10a 継) 年次変動の確認
2. BAS-656乳 ジメチナミド-p 64% [BASFアグロ]	ブロッコリ ー	適用性 継続 (H18春 夏作)	京都丹後 福岡農総試	[一年生雑草 (デコ科、アカサ科、アラ ナ科を除く)] ・ 定植後 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 50, 75mL<100> 対) フィールドスター乳剤 100mL<100>	継	継) 効果、薬害の確認
3. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	キャベツ	適用性 継続 (H18春 夏作)	福岡農総試	[一年生雑草] ・ 耕起前または定植前 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 200mL<25, 50, 100>, 500mL<25> ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ液 250mL<25>	実・ 継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起または定植5日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 全面茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) 継) 定植前処理での薬害の発生に ついて
	キャベツ	薬害 新規 (H18春 夏作)	福岡農総試	[薬害試験] ・ 定植直前 ・ 全面茎葉処理 ・ 500, 1000mL<25> ・ 展着剤不要		

C. 花き関係除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. ANK-553 (改) 乳 ベン・イメタリン 30% [BAS777 0]	チューリップ	適用性 新規	富山野菜花き試 山口農試 福岡農総試 (3)	[一年生雑草 (本科, ヲコサを除く)] ・ 植付後～萌芽前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 300mL<70, 150> ・ 500mL<70>	実 ・ 継	実) [秋冬作; 一年生雑草 (本科, ヲコサを除く)] ・ 植付後～萌芽前 雑草発生前 全面土壌処理 300～500mL<70～150L>/10a 継) 年次変動の確認
	チューリップ	自主 (H17)	富山野菜花き試	[一年生雑草 (本科, ヲコサを除く)] ・ 植付後～萌芽前 雑草発生前 ・ 全面土壌処理 ・ 300mL<70, 150> ・ 500mL<70>		
	チューリップ	薬害 新規	富山野菜花き試 福岡農総試 (2)	[薬害試験] ・ 植付後、萌芽前 ・ 全面土壌処理 ・ 500, 1000mL<70>		
2. TMZ-9911液 ヨ化メチル 99% [アリス ライフサイエンス]	サトイモ	適用性 新規	<広島農試> 鹿児島農総試 (2)	[一年生雑草] ・ 定植前 雑草発生前 ・ 土壌くん蒸処理 ・ 10, 15, 20kg 対) クロビ' クリン液 30L (3mL/穴) 処理方法) 被覆資材下に設置→くん蒸処理 (密閉し3日間放置)→被覆除去 →7日後を目安に耕起 (3日間放置)→定植	継	継) 効果、薬害の確認

E. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. AKD-8151 (L) 液 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 0.2% [アグロネーション]	トマト	適用性 継続	茨城園研 千葉暖地園研 静岡農試 宮崎総農試 (4)	[果実肥大及びネット形成促進] ・ 縦ネット発生期～横ネット発生期 ・ 1000, 2000倍<100-200mL/株> (1回処理) ・ 株散布	実 ・ 継	実) [秋冬作; 果実肥大及びネット形成促進] ・ 縦ネット発生期～横ネット発生期 1000～2000倍<100-200mL/株> 2回以内 株散布 継) 1回処理での効果、薬害の年次変動の確認

E. 野菜関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
2. NSH-1液 シイタケ菌糸体抽出物 1% [野田食菌工業]	ニンニク	適用性 継続	青森畑園試<中間> 香川農試 (2)	[品質向上(肥大促進)] ・鱗片分化期1週間後から7日お き3回散布 ・鱗片分化期2週間後から7日お き3回散布 ・300倍×3回<100, 200> ・葉面散布 ・展着剤を加用する 対) サンキャッチ液剤 鱗片分化期3週 間後 300倍 1回散布	継	継) 効果の確認
3. Y4CPA液 ハ ⁺ ラクロロフェノキシ酢酸 (4-CPA) 0.15% [横山生化学]	トマト	適用性 新規	福岡農総試 (1)	[着果促進、果実肥大促進、熟期 促進] ・開花前3日～開花後3日位 (1 花房で3～5花位開花した時期) ・高温時 (20℃以上) 100倍 ・低温時 (20℃以下) 50倍 ・1花房につき1回散布 対) トマトン	継	継) 効果、薬害の確認
	ナス	適用性 新規	福岡農総試 鹿児島農総試 (2)	[着果促進、果実肥大促進、熟期 促進] ・開花当日 ・50倍 ・1花房につき1回散布 対) トマトン	継	継) 効果、薬害の確認
4. ジベレリン水溶 ジベレリン 3.1% [日本ジベレリン研究会 (協和発酵工業)]	メロン	適用性 継続	<青森農総砂丘研> 熊本農研セ (2)	[着果促進] ・開花前日～翌日 ・ジベレリン200ppm+トマトン50倍、 トマトン50倍 ・花または子房部に1回散布 ・無処理区は人工交配区	実・ 継	実) [着果促進] ・開花前日～翌日 ジベレリン200ppm+4-CPA50倍 花または子房部に散布 継) 効果の確認

G. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. DNK-01液 シアナミド 13% [電気化学工業]	レンギョウ	適用性 継続	山形農研農生技* 埼玉農総園研* 長野野菜花き試* 福岡農総試 (4) (*:春夏作で受付、 秋冬作で実施)	[休眠打破による発芽促進] ・休眠覚醒期 (促成開始前) ・15, 20, 30倍 ・切枝全面散布 (十分量)、 切枝全体を浸漬 (15分以内)	実・ 継	実) [休眠打破による発芽促進] ・休眠覚醒期 (促成開始前) 15～30倍 切枝全面散布 (十分量) または 切枝全体を浸漬 (15分以内) 継) 20～30倍での効果の年次変動 の確認
	ユキヤギ	適用性 自主	福岡農総試 (自主) (1)	[休眠打破による発芽促進] ・休眠覚醒期 (促成開始前) ・15, 20, 30倍 ・切枝全面散布 (十分量)、 切枝全体を浸漬 (15分以内)	継	継) 効果、薬害の確認

G. 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
2. JFR-010水溶 ジベリン 5% [丸和イイミカ]	キ	適用性 新規	山口農試 福岡農総試 鹿児島農総試 (3)	[草丈伸長促進] ・ 幼生育期 ・ 1000倍 (50ppm) 1回散布 1000倍 (50ppm) 2回散布 (散布間隔7-10日) 500倍 (100ppm) 1回散布 500倍 (100ppm) 2回散布 (散布間隔7-10日) ・ 茎葉処理 (十分量) 対) ジベリン粉末または液剤 幼生育期 50~100ppm 2回	継	継) 効果、薬害の確認

H. 平成18年度春夏作分 花き関係生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
1. ダミジッド水溶 ダミジッド 80% [日本曹達]	ジャクダ	適用性 継続 (H18春 夏作)	鳥取園試 福岡果樹苗木	[矮化効果及び花芽着生数増加] ・ 新梢伸長完了期を1回目として 3回処理 (1ヶ月間隔) 75倍→75倍→75倍 100倍→100倍→100倍 <100mL/5号鉢> ・ 茎葉処理	継	継) 効果、薬害の確認
2. NPK-063粒 フルアリミール 1% [日本農業]	ムクダ	適用性 新規	植調研究所 西日本G研	[新梢伸長抑制による剪定軽減] ・ 萌芽2週間前または新梢伸長開 始2週間前 ・ 10, 20, 30kg ・ 土壌混和处理	継	継) 効果、薬害の確認
	カメチ	適用性 新規	植調研究所		—	前回の判定どおり
	ネズミチ	適用性 新規	植調研究所 東日本G研		—	前回の判定どおり
	ザンカ	適用性 新規	植調研究所 東日本G研 2件		継	継) 効果、薬害の確認
	キョウチク ウ	適用性 新規	東日本G研		継	継) 効果、薬害の確認
	マサキ	適用性 新規	西日本G研		—	前回の判定どおり